

日本薬学会

第4回全国学生ワークショップ

「私達が築く新しい医療と社会：
将来への思いを共有しよう」

報告書

平成27年1月

参加者集合写真



開会のあいさつ



目 次

| | ページ |
|----------------------------------|-----|
| 第4回全国学生ワークショップの概要 | 5 |
| プログラム | 7 |
| ワークショップ参加者および班分け | 9 |
| 「ワークショップ開催の経緯」説明原稿 | 10 |
| セッション報告 | 14 |
| 第一部「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」 | 15 |
| 作業説明 | 16 |
| テーブル報告 | 19 |
| 第二部「私達が築く新しい医療と社会」 | 43 |
| セッションⅠ「6年間の薬学教育を通して感じた現在の医療の問題点」 | 43 |
| 作業説明 | 44 |
| グループ報告 | 47 |
| 教育講演「医療人のためのプロフェッショナリズムとは」 | 83 |
| セッションⅡ「医療の問題点への対応策を考えてみよう」 | 89 |
| 作業説明 | 90 |
| グループ報告 | 93 |
| 参加者印象記 | 124 |
| 参加者アンケート結果 | 169 |
| 日本薬学会第4回全国学生ワークショップ実行委員会 | 195 |

第4回 全国学生ワークショップの概要

公益社団法人日本薬学会は、平成23年度に薬学教育委員会を設置し、薬学教育推進の事業を開始した。薬学教育委員会の事業には、薬学教育に携わる大学教員や薬剤師のためのFD (Faculty Development) が含まれており、その一環として「薬学教育者のためのアドバンスワークショップ」を開催してきた。平成23年度の第1回アドバンスワークショップを企画する過程で、学習の主体である学生のニーズを確認する必要性が指摘され、平成23年度に最終学年を迎えた6年制薬学教育の第1期生から、薬学教育に対するフィードバックを受ける目的で、全国の薬系大学・薬学部の6年次学生を主たる参加者とする「第1回全国学生ワークショップ」を平成23年8月に開催した。このワークショップでは、6年制薬学教育の成果と課題をテーマに非常に活発な論議が行われ、薬学教育への多くの有益な意見が提示された。参加者、薬学教育関係者等から本学生ワークショップの定期的な開催が強く要望され、その意を受けて、薬学教育委員会では平成24年8月に第2回(テーマ「6年制教育に望むこと、卒業後に取り組んで行きたいこと」)、平成25年8月に第3回(テーマ「医療への貢献、社会への貢献：これから薬剤師としてどのように行動するか」)の全国学生ワークショップを開催してきた。第2回からは全国から集う参加者、ワークショップ参加を経験した卒業生などからの要望を受けて、1泊2日のプログラムとして本格的なワークショップが継続されてきた。(日本薬学会ホームページ参照)

本ワークショップでは、一貫して、「6年制薬学部を卒業した薬剤師」として病院、薬局、大学、企業など多くの領域で活躍するために必要な資質を考え、それが本当に大学教育で修得できたかという評価とともに、今後社会で貢献していくためにどうすれば良いかという命題で活発な議論を行ってきた。それらは学生・卒業生から大学教育等への貴重な意見としてフィードバックされている。

第4回全国学生ワークショップは、第2回、第3回と同様、全員が研修施設に宿泊する1泊2日のプログラムで、テーマは「私達が築く新しい医療と社会：将来への思いを共有しよう」とし、全国69の薬系大学・薬学部学生が参加して平成26年8月9日(土)・10日(日)東京・府中で開催された。今回のワークショップでは、過去3回行われた本ワークショップの参加者で既に社会で活躍している卒業生22名が、将来ワークショップを自主運営するための研修も兼ね「卒業生タスクフォース」として参加した。

69大学から集まった各大学1名の計69名の6年次薬学生は、3チーム9グループに分かれ、各グループに実行委員会のタスクフォース、卒業生タスクフォースがついて、2日間の討議が行われた。

1日目は、昼食後、チームごとに分かれ、アイスブレイクの後、第1部「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」として、world café形式で、テーマ1「私が薬学部に進学した目的と達成状況」、テーマ2「私の大学のここが好き」、テーマ3「私の夢と進路：将来の姿を

描こう」という構成で、参加者が各大学で入学時から今までどんな学習をし、何を考え感じたのか、そして将来は何を目指すのか自由に意見交換を行った。第2部「私達が築く新しい医療と社会」では、セッションI「6年間の薬学教育を通して感じた現在の医療の問題点」としてKJ法にて、授業や実務実習等を通して見えてきた医療の問題点を自分達の視点で考察した。夕方 木下牧子先生の医療人のプロフェッショナルリズムについての講演を聞いた後、参加者、タスクフォース等 ワークショップ関係者全員で情報交換会を行った。その後も夜遅くまで学生、教員、薬学会関係者みんなで論議の輪が続いた。

第2日は、セッションII「医療の問題点への対応策を考えてみよう」で、第1日目セッションIで抽出した医療の問題点について、自分達の視点からその解決に貢献できる道をさぐる討論を行った。最後の第3部「将来への思いを共有しよう」では、2日間の総括として大学教育や薬剤師、医療など参加者の思いをさらに討論し、日本薬学会、文部科学省の方からもコメントをいただいて、今後社会に出て活躍する決意を参加者全員で確認した。

本報告書は、各グループの担当者により提出されたプロダクトを掲載している。また参加者そしてボランティアとして加わってくれた卒業生タスクフォースの感想は印象記として掲載した。一部形式上の変更を加えた部分があることをご了解いただきたい。

本報告書には、6年間の薬学教育を受けてきた薬学生の真摯な重いが凝縮している。今後の薬学教育ならびに薬剤師生涯研鑽の推進に少しでも役立つことを期待するものである。

以上

日本薬学会第4回全国学生ワークショップ
「私達が築く新しい医療と社会：将来への思いを共有しよう」

主催：公益社団法人 日本薬学会

開催日時：平成26年8月9日（土）12：00～10日（日）15：30

開催場所：クロス・ウェーブ府中（〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-40 TEL 042-340-4800）

参加者：大学6年次生69名（3P9S：1グループ7～8名）、卒業生22名

会場：クロス・ウェーブ府中3階研修室

第1日目：8月9日（土）

11：30～ 参加者受付（3階）

12：00 昼食（4階）

（3P：全体会議、P：チーム討議、S：小グループ討議）

12：50 3P 配布物の確認、連絡事項 5分

12：55 3P 開会のあいさつ 5分

13：00 3P ワークショップ開催の経緯 10分

アイスブレイク「チームのメンバーを知ろう」

13：15 P 作業説明、チームセッション 30分

第一部「私たちの歩み：過去、現在、そして未来」

13：45 P 作業説明 world café 15分

14：00 P テーマ1 25分

14：25 P テーマ2 25分

14：50 P テーマ3 35分

15：25 休憩 15分

第二部「私達が築く新しい医療と社会」

セッションI

15：40 P 作業説明 10分

15：50 S SGD 100分

17：30 P 発表、総合討論 45分

18：15 休憩

18：30 3P 教育講演 「医療人のプロフェッショナリズムとは」 木下牧子先生 45分

19：15 3P 1日目のアンケート 10分

19：30～ 情報交換会

～クロスウェーブ府中に宿泊～

第2日目：8月10日（日）

8：30 3P 1日目アンケートの結果報告 5分

第二部「私達が築く新しい医療と社会」

セッションⅡ

8：35 3P 作業説明 10分

8：45 S SGD 120分

コーヒーブレイク

10：45 P 発表、総合討論 45分

11：30 プロダクト展示開始 90分

昼食（4階）

13：00 3P 発表 65分

第三部「将来への思いを共有しよう」

14：05 3P 総合討論 40分

14：45 3P 閉会のあいさつ 5分

14：50 4P 2日目アンケート、総合評価アンケート

ワークショップ参加者および班分け

I チーム

チーフタスク: 小佐野博史

| I A班 | |
|--------|----------|
| 青戸 和弘 | 立命館大学 |
| 足立 暁 | 広島大学 |
| 川端 秀明 | 高崎健康福祉大学 |
| 神足 杏子 | 武庫川女子大学 |
| 竹川 悠人 | 北海道大学 |
| 都築 香里 | 愛知学院大学 |
| 船越 晴喜 | 昭和大学 |
| 真鍋 ひとみ | 福岡大学 |

タスクフォース: 高橋 寛 橋詰 勉
卒業生タスク: 東本祐佳 山口美奈子 山本天心

| I B班 | |
|--------|----------|
| 小竹 優也 | 東京薬科大学 |
| 佐久間 けい | 東邦大学 |
| 佐々木かな恵 | 岩手医科大学 |
| 瀧 千尋 | 鈴鹿医療科学大学 |
| 松下 俊介 | 金沢大学 |
| 山下 拓真 | 京都大学 |
| 山田 梨愛 | 松山大学 |
| 渡辺 圭 | 明治薬科大学 |

タスクフォース: 大津史子
卒業生タスク: 相良篤信 白石彩奈 吉田啓太郎

| I C班 | |
|--------|----------|
| 足立 愛 | 神戸薬科大学 |
| 大平 直樹 | 新潟薬科大学 |
| 小西 あかり | 岡山大学 |
| 高橋 沙季 | 第一薬科大学 |
| 津倉 秀幸 | 奥羽大学 |
| 鶴留 優也 | 九州大学 |
| 増淵 龍一郎 | 国際医療福祉大学 |
| 山岸 優真 | 北里大学 |

タスクフォース: 安原智久
卒業生タスク: 音羽 亮 小野寺祐里香

II チーム

チーフタスク: 平田收正

| II A班 | |
|-------|---------|
| 秋本 純矢 | 城西大学 |
| 石橋 佳恵 | 武蔵野大学 |
| 川原 真美 | 長崎国際大学 |
| 木原 康宏 | 福山大学 |
| 佐藤 和貴 | 東北大学 |
| 高井 健司 | 富山大学 |
| 平野 愛子 | 近畿大学 |
| 森 数馬 | 北海道医療大学 |

タスクフォース: 亀井美和子 徳山尚吾
卒業生タスク: 小嶋崇弘 中谷静香

| II B班 | |
|--------|--------|
| 大野 優美 | 帝京平成大学 |
| 小田切 誠 | 星薬科大学 |
| 北野 あすか | 京都薬科大学 |
| 公文 育実 | 大阪大谷大学 |
| 小浦 良祐 | 東北薬科大学 |
| 清水 雄太 | 兵庫医療大学 |
| 森内 将貴 | 熊本大学 |
| 柳澤 真央 | 東京大学 |

タスクフォース: 河野武幸
卒業生タスク: 松岡由紀 宮坂智幸 吉川望美

| II C班 | |
|-------|----------|
| 赤澤 実樹 | 就実大学 |
| 稲嶺 盛佳 | 徳島文理大学香川 |
| 大石 信雄 | 千葉大学 |
| 岡 慧 | 青森大学 |
| 奥村 理沙 | 同志社女子大学 |
| 高橋 希望 | 名城大学 |
| 吉川 恵理 | 静岡県立大学 |

タスクフォース: 川崎郁勇
卒業生タスク: 黒岩亮平 志田美春

III チーム

チーフタスク: 長谷川洋一

| III A班 | |
|--------|---------|
| 薄井 伸徹 | いわき明星大学 |
| 葛 祐妃 | 昭和薬科大学 |
| 川崎 桂輔 | 名古屋市立大学 |
| 北川 奈美 | 大阪薬科大学 |
| 善利 佑記 | 大阪大学 |
| 土田 隼之祐 | 東京理科大学 |
| 道面 栄美 | 広島国際大学 |

タスクフォース: 木内祐二 入江徹美
卒業生タスク: 井元優美 志田 拓顕

| III B班 | |
|--------|--------|
| 稲垣 里紗 | 金城学院大学 |
| 猪股 浩介 | 神戸学院大学 |
| 今井 智江利 | 徳島大学 |
| 岡島 隆弘 | 日本大学 |
| 河本 純平 | 摂南大学 |
| 花岡 彩奈 | 千葉科学大学 |
| 濱崎 久司 | 長崎大学 |
| 渡部 和幸 | 帝京大学 |

タスクフォース: 賀川義之 塩田澄子
卒業生タスク: 円入智子 日原章詔

| III C班 | |
|--------|---------|
| 荒井 裕貴 | 岐阜薬科大学 |
| 井伊 明大 | 徳島文理大学 |
| 池本 舞 | 北海道薬科大学 |
| 伊藤 大祐 | 慶應義塾大学 |
| 井上 可奈子 | 崇城大学 |
| 大貫 真紀子 | 日本薬科大学 |
| 小野 竜也 | 城西国際大学 |

タスクフォース: 大野尚仁
卒業生タスク: 磯崎美帆 菊池光太 間 祐太郎

| 講師 | |
|-------|-------|
| 木下 牧子 | 光風園病院 |

| 行政 | |
|--------|-------|
| 丸岡 充 | 文部科学省 |
| 柴田 佳太 | |
| 吉光 紗綾子 | |
| 泉 正年 | |

| ディレクター | |
|--------|---------|
| 松木 則夫 | 薬学教育委員長 |

| オブザーバー | |
|--------|-------|
| 横山 祐作 | 日本薬学会 |

| タスクフォース | |
|---------|---------|
| 入江 徹美 | 熊本大学 |
| 大津 史子 | 名城大学 |
| 大野 尚仁 | 東京薬科大学 |
| 賀川 義之 | 静岡県立大学 |
| 亀井 美和子 | 日本大学 |
| 川崎 郁勇 | 武庫川女子大学 |
| 木内 祐二 | 昭和大学 |
| 河野 武幸 | 摂南大学 |
| 小佐野 博史 | 帝京大学 |
| 塩田 澄子 | 就実大学 |
| 鈴木 匡 | 名古屋市立大学 |
| 高橋 寛 | 秋田県薬剤師会 |
| 徳山 尚吾 | 神戸学院大学 |
| 中村 明弘 | 昭和大学 |
| 橋詰 勉 | 京都薬科大学 |
| 長谷川 洋一 | 名城大学 |
| 平田 收正 | 大阪大学 |
| 安原 智久 | 摂南大学 |

| 卒業生 | 参加WS |
|--------|---------------------------|
| 間 祐太郎 | 城西大学大学院 第1回 |
| 宮坂 知幸 | 内閣府 第1回 |
| 山口 奈美子 | 東京大学大学院 第1回 |
| 吉田 啓太郎 | 九州保健福祉大学大学院 第1回 |
| 磯崎 未帆 | 東邦大学医療センター佐倉病院 第2回 |
| 円入 智子 | ウエルシア関東 第2回 |
| 小野寺祐里香 | 日立総合病院 第2回 |
| 菊池 光太 | 盛岡赤十字病院 第2回 |
| 黒岩 亮平 | 横浜市立みなと赤十字病院 第2回 |
| 小嶋 崇弘 | スギ薬局 第2回 |
| 相良 篤信 | 星薬科大学大学院 第2回 |
| 志田 拓顕 | 浜松医科大学医学部附属病院 第2回 |
| 山本 天心 | 千葉大学大学院専門法務研究科 第2回 |
| 吉川 望美 | 浜松医科大学医学部附属病院 第2回 |
| 井元 優美 | シミックGサイトサポートインスティテュート 第3回 |
| 音羽 亮 | 東北薬科大学病院 第3回 |
| 志田 美春 | 神戸薬科大学大学院 第3回 |
| 白石 彩奈 | メディセレ 第3回 |
| 東本 祐佳 | 総合臨床サイエンス 第3回 |
| 中谷 静香 | 日本調剤 第3回 |
| 日原 章詔 | 赤穂市民病院 第3回 |
| 松岡 由紀 | 一宮西病院 第3回 |

卒業生担当: 中村明弘

| 事務局 | |
|--------|-------|
| 土肥 三央子 | 日本薬学会 |

「ワークショップ開催の経緯」




実行委員長
鈴木 匡

**日本薬学会
第4回全国学生ワークショップ**

ワークショップ開催の経緯

実行委員長 鈴木 匡

2014年8月9日(土)
クロスウェーブ府中

 公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan



日本薬学会 全国学生ワークショップ

第1回
2011年8月

報告書

平成23年9月

第2回
2012年8月

報告書

平成24年2月

第3回
2013年8月

報告書

平成25年2月

日本薬学会
第2回全国学生ワークショップ
「6年制薬学教育に望むこと、卒業後に取り組んでいきたいこと」

過去3回のテーマ

第1回 2011年8月4日
大阪大学中之島センター 62名(62大学)
「6年制一期生として薬学教育に望むこと」

第2回 2012年8月8～9日
クロスウェーブ府中 67名(67大学)
「6年制薬学教育に望むこと、卒業後に取り組んでいきたいこと」

第3回 2013年8月10～11日
クロスウェーブ府中 70名(70大学)
**「医療への貢献、社会への貢献
これから薬剤師としてどのように行動するか」**

薬剤師に聞いてみよう!

6年制薬剤師の誕生です!

薬剤師になるための薬学教育が、平成18年4月より従来の4年制から6年制になりました。そしてこの春、初めての6年制薬用国家試験が行われ、新制度の教育を受けた薬剤師が誕生しました。これから薬剤師は、医療を司る専門職として主要な役割を担い、国民の健康と福祉にさらに積極的に貢献してまいります。

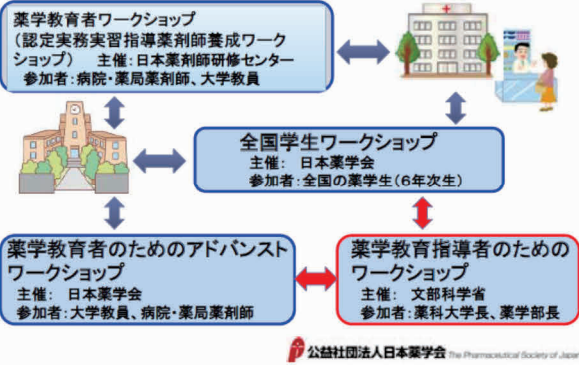
薬剤師は薬を通してあなたの健康の安心・安全を守っています。どんなことでもお気軽にご相談下さい。

**2012年4月
6年制薬学部卒業薬剤師が現場で活躍を始めた**

6年制薬学教育を支える機関、団体等

文部科学省、厚生労働省
 日本薬学会
 全国薬科大学長・薬学部長会議、国公立大学薬学部長(科長・学長)会議
 日本私立薬科大学協会
 薬学共用試験センター、薬学教育評価機構
 薬学教育協議会、日本薬剤師研修センター
 日本薬剤師会、日本病院薬剤師会ほか

全国レベルで開催されている薬学教育ワークショップ



先生たちも・・・

日本薬学会 薬学教育者のためのアドバンストワークショップ
 第1回 2011年12月
 第2回 2012年11月
 第3回 2013年10月
 第4回 2014年11月(予定)

薬学教員のWS



薬学教育も薬学生とともに成長する！

平成25年度 薬学教育モデル・コアカリキュラム 改訂

薬剤師として求められる基本的な資質

- | | |
|---------------|---------------------|
| ① 薬剤師としての心構え | ⑥ 薬物療法における実践的能力 |
| ② 患者・生活者本位の視点 | ⑦ 地域の保健・医療における実践的能力 |
| ③ コミュニケーション能力 | ⑧ 研究能力 |
| ④ チーム医療への参画 | ⑨ 自己研鑽 |
| ⑤ 基礎的な科学力 | ⑩ 教育能力 |

改訂 薬学教育モデル・コアカリキュラムの大項目

- | | | |
|---------|--------|--------|
| A 基本事項 | C 薬学基礎 | F 薬学臨床 |
| B 薬学と社会 | D 衛生薬学 | G 薬学研究 |
| E 医療薬学 | | |

現行のモデル・コアカリキュラム

薬学教育モデル・コアカリキュラム

- A ヒューマニズム
- B イントロダクション
- C1 物質の物理的性質
- C2 化学物質の分析
- C3 生体分子の姿・かたちをとらえる
- C4 化学物質の性質と反応
- C5 ターゲット分子の合成
- C6 生体分子・医薬品を化学で理解する
- C7 自然が生み出す薬物
- C8 生命体の成り立ち
- C9 生体をマイクロに理解する
- C10 生体防御

- C11 健康
- C12 環境
- C13 薬の効くプロセス
- C14 薬物治療
- C15 薬物治療に役立つ情報
- C16 製剤化のサイエンス
- C17 医薬品の開発と生産
- C18 薬学と社会

実務実習モデル・コアカリキュラム

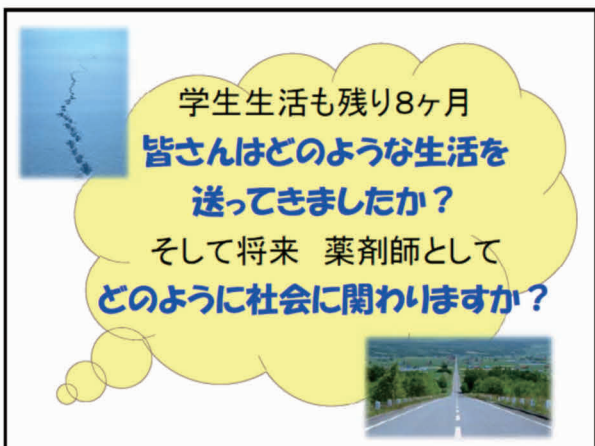
- (1) 実務事前実習
- (2) 病院実習
- (3) 薬局実習

6年制薬学教育プログラム



平成27年4月 それぞれの 進路へ・・・





学生生活も残り8ヶ月
**皆さんはどのような生活を
 送ってきましたか？**
 そして将来 薬剤師として
どのように社会に関わりますか？

日本薬学会 **第4回**全国学生ワークショップ

2014年8月9日～10日
 クロスウエーブ 府中

**「私達が築く新しい医療と社会：
 将来への思いを共有しよう」**

参加者 70名(70大学)
 タスクフォース 18名(15大学/1薬局)
 6年制薬学部卒業生 22名

WSで新しい仲間を作ろう！

各班は8名(7名)で 1班(S)
A · B · C
 3つの班で 1チーム(P) : I · II · III
 IA · IB · IC
 IIA · IIB · IIC
 IIIA · IIIB · IIIC } **3P**
 (9班)

まずは同じ班から、そしてたくさんの仲間と
 話して、考えて、仲良くなろう！
 ここにいる仲間は一生「同期生」です！

本WSのプログラム概要

9日(土)
 13:45 第一部 P
 15:40 第二部(I) P⇒S
 17:30 発表 P
 18:30 教育講演 3P
 19:30 情報交換会 3P



10日(日)
 8:35 第二部(II) 3P⇒S
 13:00 発表 P⇒3P
 14:05 第三部(総合討論) 3P
 15:00 解散



ワークショップのテーマ

**私達が築く新しい医療と社会：
 将来への思いを共有しよう**

今日・明日は仲間と共に
 大学生生活を振り返り
 薬学教育・医療・社会
 について 存分に
 情報や意見を交換して下さい

ワークショップのルール

- お互いに名前を呼びましょう: ○○さん、○○くん→名札は見える位置に
- タスクフォースの大学教員も「先生」でなく「○○さん」で呼んで下さい。
- 集合時間を守りましょう
- 携帯電話の電源は切っておきましょう。

**大学から選ばれて来ているからといって
 大学を代表する必要はありません。
 意見交換を積極的に楽しんで下さい。**